



AP-S2500GP

CASIO

クイックスタートガイド (保証書別添)

本書は、お読みになったあとも、保証書とともに、大切に保管してください。
別紙「お客様へ」に記載の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。

付属品一覧

- 3本ペダル付きピアノスタンド
- 譜面立て
- ACアダプター (AD-E24250LW)
- 電源コード
- ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプター
- 楽譜集
- 同梱リーフ類
- クイックスタートガイド (本書)
- 3本ペダル付きピアノスタンドの組み立て方
- 保証書
- お客様へ

付属品のデザインと内容は、予告なく変更することがあります。

別売品

イス: CB-5、CB-7、CB-30

取扱説明書、専用アプリ (CASIO MUSIC SPACE) ダウンロード、楽譜集など、より詳しい操作方法や製品の情報は、下記の弊社ウェブサイトを参照してください。

AP-S2500GP

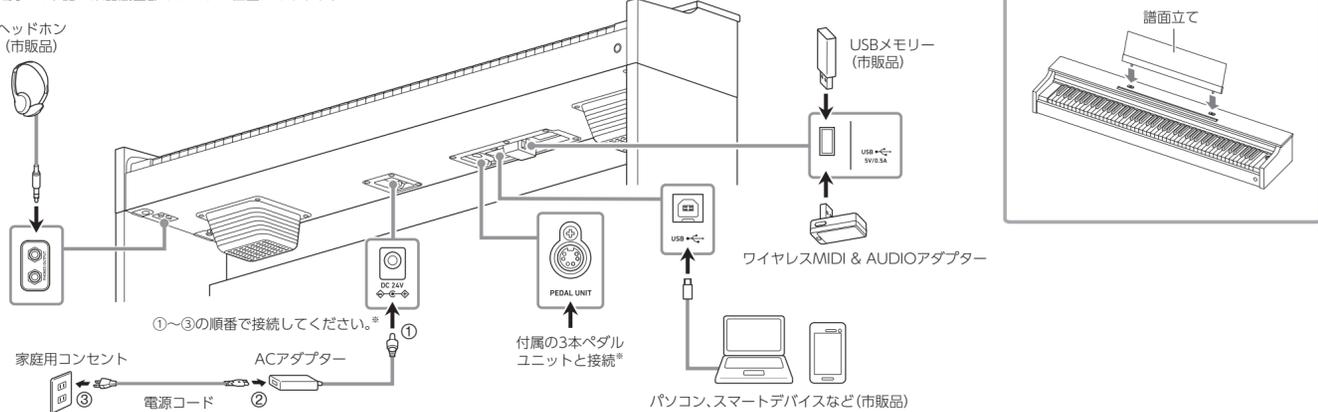


https://support.casio.jp/emi/manual/AP-S2500GP/

演奏の準備

機器を抜き挿しするときは、本機の電源を切った状態で行ってください。

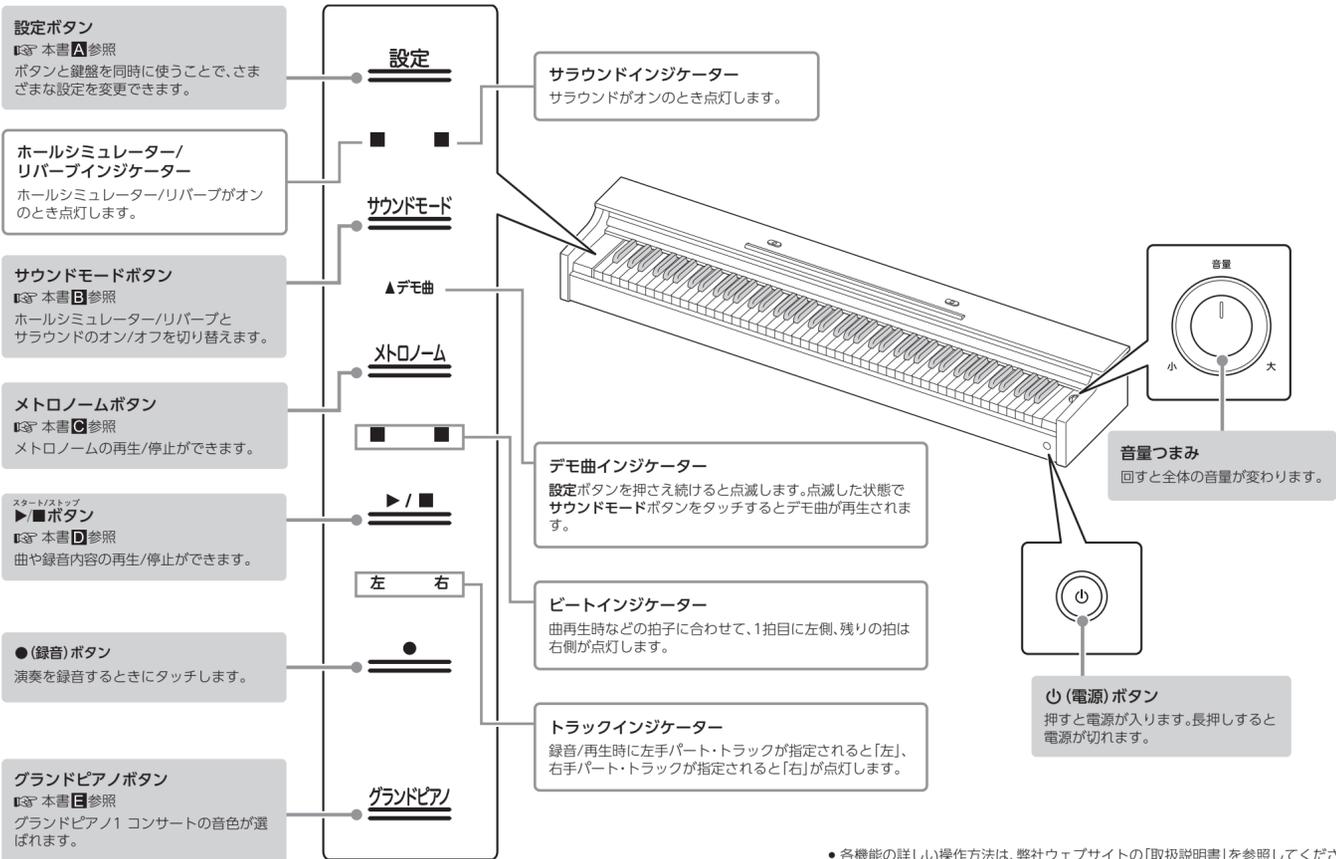
各種の入出力端子は、下記の楽器底面部イラストの位置にあります。



※ 付属スタンドの組み立て、およびペダルユニット、ACアダプターと本機の接続は、別紙を参照してください。

全体ガイド

何も操作せずに15秒経過すると左パネルが消灯します。消灯したときは、左パネルに触れるとタッチボタンが点灯します。
消灯までの秒数を変えたり、消灯しないようにしたりできます。詳しくは、右側の項目「各種機能」にある「パネル消灯設定」を参照してください。

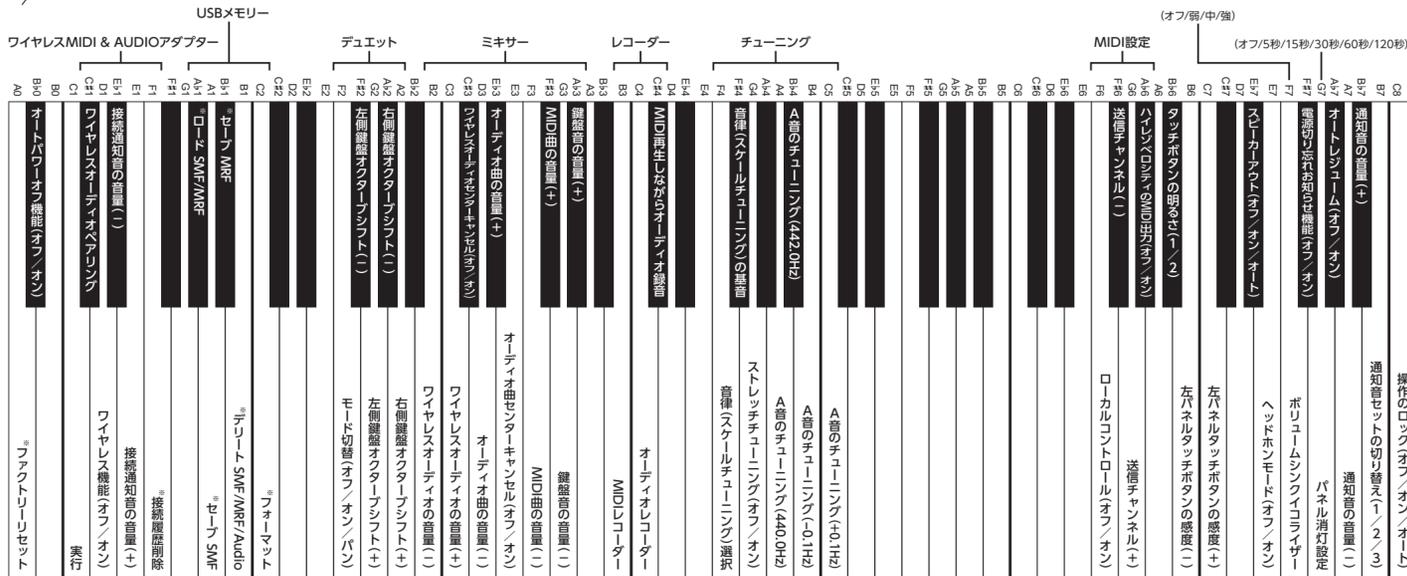


● 各機能の詳しい操作方は、弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照してください。

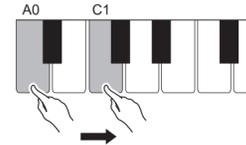
チューニングなどの基本設定をする

設定

- 設定ボタンを押さえたまま鍵盤を選びます。
- 設定変更時に鍵盤を押すと、設定値や並び順に応じた回数のお知らせ音が鳴ります。
- 設定がオフに切り替わったときは、低い音が鳴ります。



「※」の付いた機能は、C1鍵盤を押すと選択した機能が実行されます。
例:工場出荷時の状態に戻す (ファクトリーリセット)
設定ボタンを押さえたまま、A0鍵盤を押してC1鍵盤を押します。



各種機能

ワイヤレス機能 (付属のワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを使う)

ワイヤレスMIDI & AUDIOアダプターを本機のUSB Type A端子に接続すると、次のことができます。詳しくは、弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照してください。

- Bluetooth®接続したスマートデバイスの再生音を本機のスピーカーから鳴らす
- Bluetooth Low Energy接続でMIDI機能を使う
- 専用アプリ (CASIO MUSIC SPACE) を使う

タッチレスポンス機能

鍵盤をより強く押すとより強い音が、より弱く押すとより弱い音が鳴ります。

デモ演奏

設定ボタンを押さえたまま、サウンドモードボタンをタッチすると、デモ曲の再生が開始されます。再生を停止するには▶■ボタンをタッチします。

オートパワーオフ機能

本機を約20分間操作しないと、自動的に電源が切れます。オフに設定すると自動的に電源が切れなくなります。オン、オフを切り替えるには、設定ボタンを押さえたまま、B0鍵盤を押します。B0鍵盤を押すたびにオン、オフが切り替わります。設定がオフに切り替わったときは、低い音が鳴ります。

警告

オートパワーオフをオフに設定すると自動で電源が切れなくなりますので電力を消費し続けます。

パネル消灯設定

左パネルの消灯までの秒数を変えたり、消灯しないように設定できます。オフに設定すると左パネルは消灯しません。
設定ボタンを押さえたまま、G7鍵盤を押します。G7鍵盤を押すたびに設定 (オフ/5秒/15秒/30秒/60秒/120秒) が切り替わります。設定がオフに切り替わったときは、低い音が鳴ります。

演奏の録音/再生

- (録音) ボタンをタッチして鍵盤で演奏を始めると、録音が始まります。録音を終了するには、もう一度● (録音) ボタンをタッチします。録音内容を再生するには、▶■ボタンをタッチします。

専用アプリ (CASIO MUSIC SPACE) について

「CASIO MUSIC SPACE」を使うと、本機と連動してさまざまな楽しみ方ができます。弊社ウェブサイトの「CASIO MUSIC SPACE ダウンロード」をご覧ください。

資料

製品仕様

- 型式: AP-S2500GP-BN/AP-S2500GP-GB
 - 鍵盤: 88鍵
 - 音源: アンプ出力: 16W + 16W (実用最大出力 20W + 20W)
スピーカー: 12cm x 2
 - 電源: ACアダプター (AD-E24250LW)
 - 消費電力: 24V ー 20W
 - サイズ: 本体 + スタンド: 幅139.3 x 奥行29.9 x 高さ80.2cm
 - 質量: 本体 + スタンド + 譜面立て: 約34.0kg
- ・改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

■ JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

本書に記載していない機能について

本書には、主な機能の基本的な操作方法がまとめられています。より詳しい情報については、弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照してください。

「取扱説明書」には、以下の内容が記載されています。

- 鍵盤のタッチを調節する
- ホールシミュレーター/リバップ効果とサウンド効果
- 内蔵曲を聴く、曲を練習する
- スマートデバイスで本機を操作する
- その他

楽譜集について

付属している楽譜集のPDFデータを弊社ウェブサイトからダウンロードできます。お手持ちのスマートデバイスで楽譜を閲覧できます。PDFデータは、目次から楽譜ページに直接アクセスできる機能がついていたり、弾きたい曲だけをプリントアウトできて便利です。

サウンドモードなどの設定を変更する

B

サウンドモード

- サウンドモードボタンを押さえたまま鍵盤を選びます。
- 設定変更時に鍵盤を押すと、設定値や並び順に応じた回数の通知音が鳴ります。
- 設定がオフに切り替わったときは、低い音が鳴ります。
- (トーン)を選択すると、現在の音色に合った値に自動で設定されます。

サウンドモード		アコースティックシミュレーター (各効果の数字が大きくなるほど効果が大きくなります。)		コーラス	
ホールシミュレータータイプ リバーブタイプ		プリリアンス		リバーブ	
A0	ホールのシミュレーター	A0	プリリアンス	A0	リバーブ
B0	ホール	B0	プリリアンス	B0	リバーブ
C1	ホール	C1	プリリアンス	C1	リバーブ
D1	ホール	D1	プリリアンス	D1	リバーブ
E1	ホール	E1	プリリアンス	E1	リバーブ
F1	ホール	F1	プリリアンス	F1	リバーブ
G1	ホール	G1	プリリアンス	G1	リバーブ
A1	ホール	A1	プリリアンス	A1	リバーブ
B1	ホール	B1	プリリアンス	B1	リバーブ
C2	ホール	C2	プリリアンス	C2	リバーブ
D2	ホール	D2	プリリアンス	D2	リバーブ
E2	ホール	E2	プリリアンス	E2	リバーブ
F2	ホール	F2	プリリアンス	F2	リバーブ
G2	ホール	G2	プリリアンス	G2	リバーブ
A2	ホール	A2	プリリアンス	A2	リバーブ
B2	ホール	B2	プリリアンス	B2	リバーブ
C3	ホール	C3	プリリアンス	C3	リバーブ
D3	ホール	D3	プリリアンス	D3	リバーブ
E3	ホール	E3	プリリアンス	E3	リバーブ
F3	ホール	F3	プリリアンス	F3	リバーブ
G3	ホール	G3	プリリアンス	G3	リバーブ
A3	ホール	A3	プリリアンス	A3	リバーブ
B3	ホール	B3	プリリアンス	B3	リバーブ
C4	ホール	C4	プリリアンス	C4	リバーブ
D4	ホール	D4	プリリアンス	D4	リバーブ
E4	ホール	E4	プリリアンス	E4	リバーブ
F4	ホール	F4	プリリアンス	F4	リバーブ
G4	ホール	G4	プリリアンス	G4	リバーブ
A4	ホール	A4	プリリアンス	A4	リバーブ
B4	ホール	B4	プリリアンス	B4	リバーブ
C5	ホール	C5	プリリアンス	C5	リバーブ
D5	ホール	D5	プリリアンス	D5	リバーブ
E5	ホール	E5	プリリアンス	E5	リバーブ
F5	ホール	F5	プリリアンス	F5	リバーブ
G5	ホール	G5	プリリアンス	G5	リバーブ
A5	ホール	A5	プリリアンス	A5	リバーブ
B5	ホール	B5	プリリアンス	B5	リバーブ
C6	ホール	C6	プリリアンス	C6	リバーブ
D6	ホール	D6	プリリアンス	D6	リバーブ
E6	ホール	E6	プリリアンス	E6	リバーブ
F6	ホール	F6	プリリアンス	F6	リバーブ
G6	ホール	G6	プリリアンス	G6	リバーブ
A6	ホール	A6	プリリアンス	A6	リバーブ
B6	ホール	B6	プリリアンス	B6	リバーブ
C7	ホール	C7	プリリアンス	C7	リバーブ
D7	ホール	D7	プリリアンス	D7	リバーブ
E7	ホール	E7	プリリアンス	E7	リバーブ
F7	ホール	F7	プリリアンス	F7	リバーブ
G7	ホール	G7	プリリアンス	G7	リバーブ
A7	ホール	A7	プリリアンス	A7	リバーブ
B7	ホール	B7	プリリアンス	B7	リバーブ
C8	ホール	C8	プリリアンス	C8	リバーブ

サウンドモード(ホールシミュレーター/リバーブとサラウンド)を使う

- ホールシミュレーター/リバーブとサラウンドのオン/オフを切り替えるには
サウンドモードボタンにタッチするたびに、それぞれの効果のオン、オフが順に切り替わります。
ホールシミュレーター/リバーブがオンになると、ホールシミュレーター/リバーブインジケータが点灯します。
サラウンドがオンになると、サラウンドインジケータが点灯します。
- サラウンドについて
サラウンドがオンのときは、本機のスピーカーからの出力音に、サラウンド効果(広がり効果)がかかります。

- ホールシミュレーター/リバーブのタイプを選ぶには
ホールシミュレーター
透明感のある端正な響きや、伸びやかで華やかな響きなど、世界的に有名なコンサートホールや建築物内の、それぞれに異なる音響特性をシミュレートします。
・サウンドモードボタンを押さえたまま、A0～C1鍵盤のいずれか1つを押します。
- リバーブ
部屋の中、あるいはホール内といった、空間の残響を再現するタイプのエフェクトです。
・サウンドモードボタンを押さえたまま、C#1～E1鍵盤のいずれか1つを押します。

メトロノームやテンポの設定を変更する

C

メトロノーム

- メトロノームボタンを押さえたまま鍵盤を選びます。
- 設定変更時に鍵盤を押すと、設定値や並び順に応じた回数の通知音が鳴ります。
- 設定がオフに切り替わったときは、低い音が鳴ります。

テンポ設定(数値指定)		テンポ設定(速度標語指定)		メトロノームの拍子ベル音	
A0	テンポ設定	A0	テンポ設定	A0	メトロノーム
B0	テンポ設定	B0	テンポ設定	B0	メトロノーム
C1	テンポ設定	C1	テンポ設定	C1	メトロノーム
D1	テンポ設定	D1	テンポ設定	D1	メトロノーム
E1	テンポ設定	E1	テンポ設定	E1	メトロノーム
F1	テンポ設定	F1	テンポ設定	F1	メトロノーム
G1	テンポ設定	G1	テンポ設定	G1	メトロノーム
A1	テンポ設定	A1	テンポ設定	A1	メトロノーム
B1	テンポ設定	B1	テンポ設定	B1	メトロノーム
C2	テンポ設定	C2	テンポ設定	C2	メトロノーム
D2	テンポ設定	D2	テンポ設定	D2	メトロノーム
E2	テンポ設定	E2	テンポ設定	E2	メトロノーム
F2	テンポ設定	F2	テンポ設定	F2	メトロノーム
G2	テンポ設定	G2	テンポ設定	G2	メトロノーム
A2	テンポ設定	A2	テンポ設定	A2	メトロノーム
B2	テンポ設定	B2	テンポ設定	B2	メトロノーム
C3	テンポ設定	C3	テンポ設定	C3	メトロノーム
D3	テンポ設定	D3	テンポ設定	D3	メトロノーム
E3	テンポ設定	E3	テンポ設定	E3	メトロノーム
F3	テンポ設定	F3	テンポ設定	F3	メトロノーム
G3	テンポ設定	G3	テンポ設定	G3	メトロノーム
A3	テンポ設定	A3	テンポ設定	A3	メトロノーム
B3	テンポ設定	B3	テンポ設定	B3	メトロノーム
C4	テンポ設定	C4	テンポ設定	C4	メトロノーム
D4	テンポ設定	D4	テンポ設定	D4	メトロノーム
E4	テンポ設定	E4	テンポ設定	E4	メトロノーム
F4	テンポ設定	F4	テンポ設定	F4	メトロノーム
G4	テンポ設定	G4	テンポ設定	G4	メトロノーム
A4	テンポ設定	A4	テンポ設定	A4	メトロノーム
B4	テンポ設定	B4	テンポ設定	B4	メトロノーム
C5	テンポ設定	C5	テンポ設定	C5	メトロノーム
D5	テンポ設定	D5	テンポ設定	D5	メトロノーム
E5	テンポ設定	E5	テンポ設定	E5	メトロノーム
F5	テンポ設定	F5	テンポ設定	F5	メトロノーム
G5	テンポ設定	G5	テンポ設定	G5	メトロノーム
A5	テンポ設定	A5	テンポ設定	A5	メトロノーム
B5	テンポ設定	B5	テンポ設定	B5	メトロノーム
C6	テンポ設定	C6	テンポ設定	C6	メトロノーム
D6	テンポ設定	D6	テンポ設定	D6	メトロノーム
E6	テンポ設定	E6	テンポ設定	E6	メトロノーム
F6	テンポ設定	F6	テンポ設定	F6	メトロノーム
G6	テンポ設定	G6	テンポ設定	G6	メトロノーム
A6	テンポ設定	A6	テンポ設定	A6	メトロノーム
B6	テンポ設定	B6	テンポ設定	B6	メトロノーム
C7	テンポ設定	C7	テンポ設定	C7	メトロノーム
D7	テンポ設定	D7	テンポ設定	D7	メトロノーム
E7	テンポ設定	E7	テンポ設定	E7	メトロノーム
F7	テンポ設定	F7	テンポ設定	F7	メトロノーム
G7	テンポ設定	G7	テンポ設定	G7	メトロノーム
A7	テンポ設定	A7	テンポ設定	A7	メトロノーム
B7	テンポ設定	B7	テンポ設定	B7	メトロノーム
C8	テンポ設定	C8	テンポ設定	C8	メトロノーム

メトロノームを使う

- メトロノームボタンをタッチするとメトロノームがスタートします。
メトロノームの拍子やテンポに合わせて、ビートインジケータが点灯します。
メトロノームを止めるには、もう一度メトロノームボタンをタッチします。

テンポを数値で指定する

- テンポは20～255(拍/分)の間で、メトロノームボタンを押さえたまま、A0～F#1鍵盤を使って設定値を入力します。

曲を選択する

D

▶/■

- ▶ボタンを押さえたまま鍵盤を選びます。
- 設定変更時に鍵盤を押すと、設定値や並び順に応じた回数の通知音が鳴ります。
- デモ曲の再生中は、鍵盤に割り当てられている機能が変わります。詳しい情報については、弊社ウェブサイトの「取扱説明書」を参照してください。

曲番号で曲選択		ミュージックライブラリー(ユーザー曲)		ミュージックライブラリー(内蔵曲)	
A0	曲番号	A0	ミュージックライブラリー	A0	ミュージックライブラリー
B0	曲番号	B0	ミュージックライブラリー	B0	ミュージックライブラリー
C1	曲番号	C1	ミュージックライブラリー	C1	ミュージックライブラリー
D1	曲番号	D1	ミュージックライブラリー	D1	ミュージックライブラリー
E1	曲番号	E1	ミュージックライブラリー	E1	ミュージックライブラリー
F1	曲番号	F1	ミュージックライブラリー	F1	ミュージックライブラリー
G1	曲番号	G1	ミュージックライブラリー	G1	ミュージックライブラリー
A1	曲番号	A1	ミュージックライブラリー	A1	ミュージックライブラリー
B1	曲番号	B1	ミュージックライブラリー	B1	ミュージックライブラリー
C2	曲番号	C2	ミュージックライブラリー	C2	ミュージックライブラリー
D2	曲番号	D2	ミュージックライブラリー	D2	ミュージックライブラリー
E2	曲番号	E2	ミュージックライブラリー	E2	ミュージックライブラリー
F2	曲番号	F2	ミュージックライブラリー	F2	ミュージックライブラリー
G2	曲番号	G2	ミュージックライブラリー	G2	ミュージックライブラリー
A2	曲番号	A2	ミュージックライブラリー	A2	ミュージックライブラリー
B2	曲番号	B2	ミュージックライブラリー	B2	ミュージックライブラリー
C3	曲番号	C3	ミュージックライブラリー	C3	ミュージックライブラリー
D3	曲番号	D3	ミュージックライブラリー	D3	ミュージックライブラリー
E3	曲番号	E3	ミュージックライブラリー	E3	ミュージックライブラリー
F3	曲番号	F3	ミュージックライブラリー	F3	ミュージックライブラリー
G3	曲番号	G3	ミュージックライブラリー	G3	ミュージックライブラリー
A3	曲番号	A3	ミュージックライブラリー	A3	ミュージックライブラリー
B3	曲番号	B3	ミュージックライブラリー	B3	ミュージックライブラリー
C4	曲番号	C4	ミュージックライブラリー	C4	ミュージックライブラリー
D4	曲番号	D4	ミュージックライブラリー	D4	ミュージックライブラリー
E4	曲番号	E4	ミュージックライブラリー	E4	ミュージックライブラリー
F4	曲番号	F4	ミュージックライブラリー	F4	ミュージックライブラリー
G4	曲番号	G4	ミュージックライブラリー	G4	ミュージックライブラリー
A4	曲番号	A4	ミュージックライブラリー	A4	ミュージックライブラリー
B4	曲番号	B4	ミュージックライブラリー	B4	ミュージックライブラリー
C5	曲番号	C5	ミュージックライブラリー	C5	ミュージックライブラリー
D5	曲番号	D5	ミュージックライブラリー	D5	ミュージックライブラリー
E5	曲番号	E5	ミュージックライブラリー	E5	ミュージックライブラリー
F5	曲番号	F5	ミュージックライブラリー	F5	ミュージックライブラリー
G5	曲番号	G5	ミュージックライブラリー	G5	ミュージックライブラリー
A5	曲番号	A5	ミュージックライブラリー	A5	ミュージックライブラリー
B5	曲番号	B5	ミュージックライブラリー	B5	ミュージックライブラリー
C6	曲番号	C6	ミュージックライブラリー	C6	ミュージックライブラリー
D6	曲番号	D6	ミュージックライブラリー	D6	ミュージックライブラリー
E6	曲番号	E6	ミュージックライブラリー	E6	ミュージックライブラリー
F6	曲番号	F6	ミュージックライブラリー	F6	ミュージックライブラリー
G6	曲番号	G6	ミュージックライブラリー	G6	ミュージックライブラリー
A6	曲番号	A6	ミュージックライブラリー	A6	ミュージックライブラリー
B6	曲番号	B6	ミュージックライブラリー	B6	ミュージックライブラリー
C7	曲番号	C7	ミュージックライブラリー	C7	ミュージックライブラリー
D7	曲番号	D7	ミュージックライブラリー	D7	ミュージックライブラリー
E7	曲番号	E7	ミュージックライブラリー	E7	ミュージックライブラリー
F7	曲番号	F7	ミュージックライブラリー	F7	ミュージックライブラリー
G7	曲番号	G7	ミュージックライブラリー	G7	ミュージックライブラリー
A7	曲番号	A7	ミュージックライブラリー	A7	ミュージックライブラリー
B7	曲番号	B7	ミュージックライブラリー	B7	ミュージックライブラリー
C8	曲番号	C8	ミュージックライブラリー	C8	ミュージックライブラリー

曲番号で曲を選択する

- ▶ボタンを押さえたまま、A0～F#1鍵盤を使って曲番号を入力します。

曲番号	曲
1～60	ミュージックライブラリー(内蔵曲)
61～70	ミュージックライブラリー(ユーザー曲)

音色などの設定を変更する

E

グランドピアノ

- グランドピアノボタンを押さえたまま鍵盤を選びます。
- 設定変更時に鍵盤を押すと、設定値や並び順に応じた回数の通知音が鳴ります。
- 設定がオフに切り替わったときは、低い音が鳴ります。

アッパー1設定		音色選択		レイヤー設定	
タッチレスポンス		(音色名は本機鍵盤部の上側に記されています。)		スプリット設定	
A0	タッチレスポンス	A0	音色選択	A0	レイヤー設定
B0	タッチレスポンス	B0	音色選択	B0	レイヤー設定
C1	タッチレスポンス	C1	音色選択	C1	レイヤー設定
D1	タッチレスポンス	D1	音色選択	D1	レイヤー設定
E1	タッチレスポンス	E1	音色選択	E1	レイヤー設定
F1	タッチレスポンス	F1	音色選択	F1	レイヤー設定
G1	タッチレスポンス	G1	音色選択	G1	レイヤー設定
A1	タッチレスポンス	A1	音色選択	A1	レイヤー設定
B1	タッチレスポンス	B1	音色選択	B1	レイヤー設定
C2	タッチレスポンス	C2	音色選択	C2	レイヤー設定
D2	タッチレスポンス	D2	音色選択	D2	レイヤー設定
E2	タッチレスポンス	E2	音色選択	E2	レイヤー設定
F2	タッチレスポンス	F2	音色選択	F2	レイヤー設定
G2	タッチレスポンス	G2	音色選択	G2	レイヤー設定
A2	タッチレスポンス	A2	音色選択	A2	レイヤー設定
B2	タッチレスポンス	B2	音色選択	B2	レイヤー設定
C3	タッチレスポンス	C3	音色選択	C3	レイヤー設定
D3	タッチレスポンス	D3	音色選択	D3	レイヤー設定
E3	タッチレスポンス	E3	音色選択	E3	レイヤー設定
F3	タッチレスポンス	F3	音色選択	F3	レイヤー設定
G3	タッチレスポンス	G3	音色選択	G3	レイヤー設定
A3	タッチレスポンス	A3	音色選択	A3	レイヤー設定
B3	タッチレスポンス	B3	音色選択	B3	レイヤー設定
C4	タッチレスポンス	C4	音色選択	C4	レイヤー設定
D4	タッチレスポンス	D4	音色選択	D4	レイヤー設定
E4	タッチレスポンス	E4	音色選択	E4	レイヤー設定
F4	タッチレスポンス	F4	音色選択	F4	レイヤー設定
G4	タッチレスポンス	G4	音色選択	G4	レイヤー設定
A4	タッチレスポンス	A4	音色選択	A4	レイヤー設定
B4	タッチレスポンス	B4	音色選択	B4	レイヤー設定
C5	タッチレスポンス	C5	音色選択	C5	レイヤー設定
D5	タッチレスポンス	D5	音色選択	D5	レイヤー設定
E5	タッチレスポンス	E5	音色選択	E5	レイヤー設定
F5	タッチレスポンス	F5	音色選択	F5	レイヤー設定
G5	タッチレスポンス	G5	音色選択	G5	レイヤー設定
A5	タッチレスポンス	A5	音色選択	A5	レイヤー設定
B5	タッチレスポンス	B5	音色選択	B5	レイヤー設定
C6	タッチレスポンス	C6	音色選択	C6	レイヤー設定
D6	タッチレスポンス	D6	音色選択	D6	レイヤー設定
E6	タッチレスポンス	E6	音色選択	E6	レイヤー設定
F6	タッチレスポンス	F6	音色選択	F6	レイヤー設定
G6	タッチレスポンス	G6	音色選択	G6	レイヤー設定
A6	タッチレスポンス	A6	音色選択	A6	レイヤー設定
B6	タッチレスポンス	B6	音色選択	B6	レイヤー設定
C7	タッチレスポンス	C7	音色選択	C7	レイヤー設定
D7	タッチレスポンス	D7	音色選択	D7	レイヤー設定
E7	タッチレスポンス	E7	音色選択	E7	レイヤー設定
F7	タッチレスポンス	F7	音色選択	F7	レイヤー設定
G7	タッチレスポンス	G7	音色選択	G7	レイヤー設定
A7	タッチレスポンス	A7	音色選択	A7	レイヤー設定
B7	タッチレスポンス	B7	音色選択	B7	レイヤー設定
C8	タッチレスポンス	C8	音色選択	C8	レイヤー設定